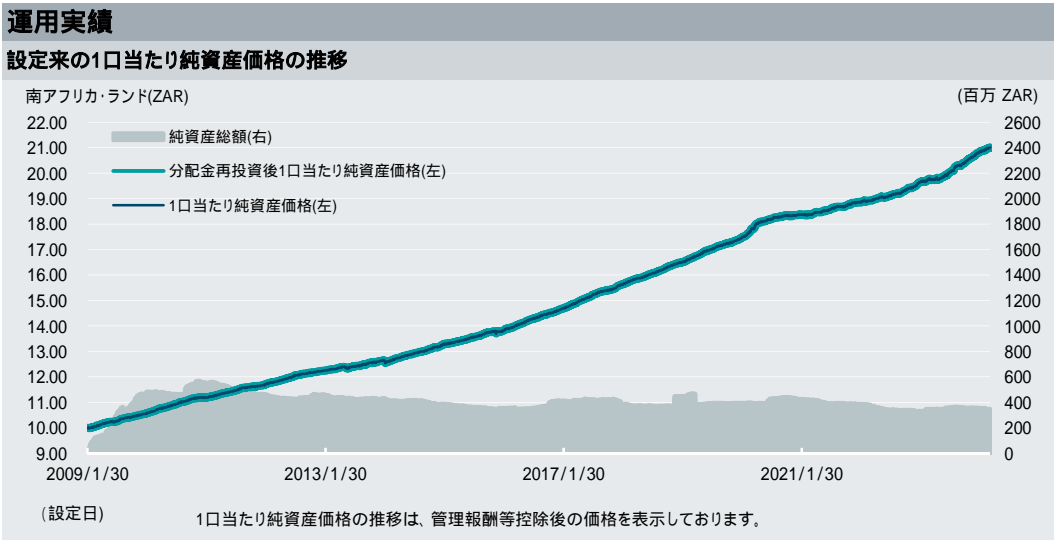


ファンド概況	
1口当たり純資産価格・純資産総額	
1口当たり純資産価格	21.01 ZAR
純資産総額	343.06 百万ZAR

税引前分配金実績(1口当たり)	
第11期	0.00 ZAR
第12期	0.00 ZAR
第13期	0.00 ZAR
第14期	0.00 ZAR
第15期	0.00 ZAR
分配金累計	0.00 ZAR

運用状況によっては、分配金が支払われない場合があります。



騰落率 (南アフリカ・ランドベース)						
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.43%	1.25%	3.45%	6.43%	14.31%	110.10%

## ポートフォリオの状況 (2024年3月28日現在)

ポートフォリオ特性値	種類別構成比	格付別構成比
平均最終利回り 8.54%	国際機関債 65.3%	AAA 61.0%
平均デュレーション 0.84年	社債(金融) 10.7%	AA+ 17.0%
平均格付 AA	国債 10.2%	AA 1.1%
平均残存年数 0.92年	政府機関債 9.3%	AA- 0.0%
	その他 0.0%	A+ 0.0%
	現預金 4.6%	その他 20.8%
	合計 100.0%	合計 100.0%

## 組入上位10銘柄

組入債券銘柄数：13 銘柄

銘柄名	発行体名	債券種別	通貨	償還日	格付	利回り	比率
European Investment Bank 14/17.09.24 MTN	欧州投資銀行	国際機関債	ZAR	2024/9/17	AAA	8.5%	20.9%
Int. Finance Facility (IFFIm) 09/6.24.2024 MTN	予防接種のための国際金融ファシリティ (IFFIm)	国際機関債	ZAR	2024/6/24	AA+	9.6%	16.3%
Intl Bk for Reconst and Dev.16/20.06.24 MTN	国際復興開発銀行	国際機関債	ZAR	2024/6/20	AAA	8.3%	15.0%
South Africa 97/21.12.26 No.186	南アフリカ国債	国債	ZAR	2026/12/21	BB	9.5%	10.2%
Deutsche Bank, London 12/20.07.2024 MTN	ドイツ銀行(ロンドン)	社債(金融)	ZAR	2024/7/20	A-	9.4%	9.6%
BNG Bank 98/31.12.25 MTN	オランダ自治体金融公庫	政府機関債	ZAR	2025/12/31	AAA	9.0%	9.3%
Int. Bank for Rec. and Developm. 18/21.12.26 MTN	国際復興開発銀行	国際機関債	ZAR	2026/12/21	AAA	8.5%	4.7%
Int. Bank for Rec. and Developm.16/20.09.2024 MTN	国際復興開発銀行	国際機関債	ZAR	2024/9/20	AAA	9.0%	2.5%
African Development Bank 19/17.10.2024 MTN	アフリカ開発銀行	国際機関債	ZAR	2024/10/17	AAA	8.8%	1.6%
European Investment Bank 15/21.12.26 MTN	欧州投資銀行	国際機関債	ZAR	2026/12/21	AAA	8.5%	1.5%

組入上位10銘柄合計

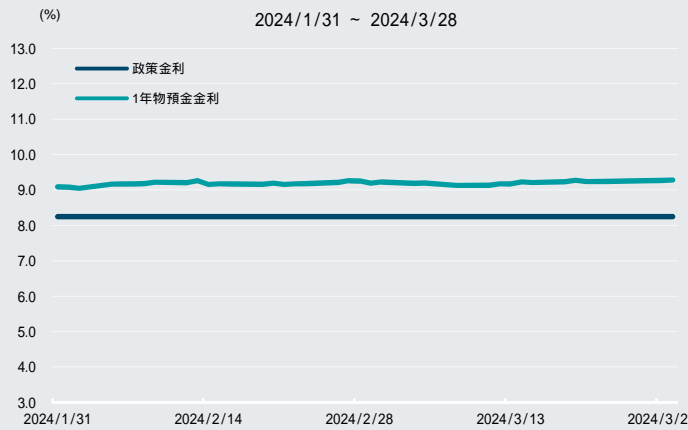
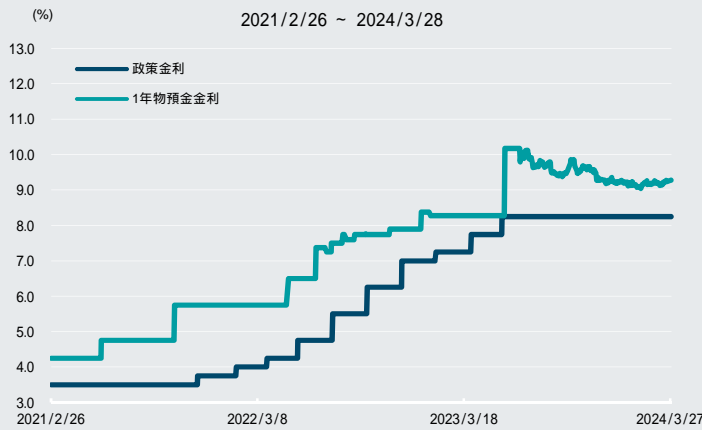
91.6%

(対純資産総額比)  
(出所：Bloomberg)

平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。  
格付けはムーディーズ、S&Pのうち高い方の格付けを採用し、S&Pの表記方法で記載しています。  
上記の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。

## 【参考】マーケットの状況

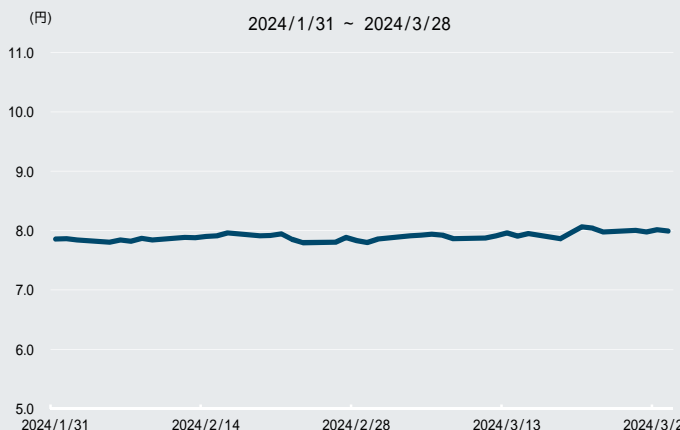
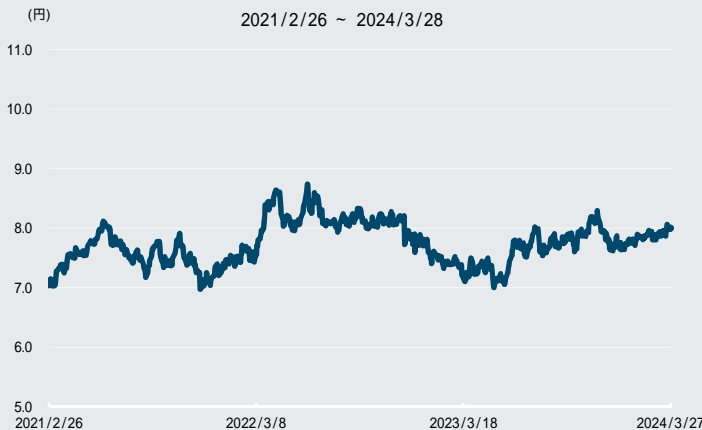
## 南アフリカ・政策金利および短期金利の推移



(出所：Bloomberg)

1年物預金金利は、南アフリカ内外の金融機関が提示する南アフリカ・ランド建1年物の譲渡性預金金利情報に基づきBloomberg社が提供しているものです。

## 南アフリカ・ランド / 円の推移



為替レートはWMロイターレートを使用しております。(出所：Bloomberg)

## ファンド・マネジャーのコメント(2024年3月28日現在)

## 経済概況

南アフリカ経済は2023年10-12月期の国内総生産 (GDP) が前期比0.1%増と僅かながらプラスを回復しました。その後についても1月の製造業生産 (速報値) は前年比2.6%と予想を上回った一方、同月の小売売上高 (速報値) は前年比-2.1%と低調となりました。インフレ動向については、2月のインフレ率は前年比5.6%と政策目標 (3-6%) の範囲内ながら前月より上昇しました。南アフリカ準備銀行は政策金利を8.25%に据え置きました。

債券市場ではインフレ率が上昇したこと等から、幅広い年限で金利は上昇 (価格は下落) しました。為替市場では、金価格が上昇したこと等を受け、南アフリカ・ランドは対米ドルで上昇しました。

## 投資行動および運用方針

3月のファンドのリターンは、保有債券の金利収入から0.43%上昇しました。ポートフォリオの平均残存年数は前月から僅かに短めとなり、平均格付けについてはAA格となりました。

南アフリカ経済に関しては、国営電力会社による計画停電や、物流の遅延等は回復の足かせとなっており、低成長が継続する見通しです。インフレは政策目標範囲内ながら足元で上昇しており、引き続き注意していく必要があります。

南アフリカの債券や通貨については、国内外の金融政策や、中国景気の動向、また国内政治に対する不透明感が変動要因になると見られます。運用方針としましては、現在のポートフォリオを維持しつつ運用する予定ですが、インフレ動向や金融政策、世界的な金融市場の動向を睨みつつ残存年数等の調整を行うこととします。

将来の市場環境の変動等により、上記運用方針が変更される場合があります。上記の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。格付けはムーディーズ、S&Pのうち高い方の格付けを採用し、S&Pの表記方法で記載しています。



## ファンドの特色

- 1 主として、南アフリカ・ランド建の短期金融商品、債券および銀行預金からなる分散したポートフォリオに投資します。AAA格の国際機関債に投資を行う場合もあります。
- 2 南アフリカ・ランド建資産の運用にあたっては、流動性を確保すると同時に、安定した収益の獲得を目指します。
- 3 投資資産のポートフォリオの平均信用格付は、南アフリカ国債と同等またはそれ以上とします。  
南アフリカ国債の信用格付を下回る債券等を組入れる可能性があります。
- 4 投資資産のポートフォリオの平均残存期間は、原則として1年未満とします。
- 5 南アフリカの証券市場は、新興国市場として位置付けられます。そのため、先進国の証券市場に比べてカントリー・リスクおよび信用リスクが高くなります。

(注)市況動向および資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

### リスク要因

ファンドが行う投資には、価格上昇の機会に加えてリスクも含まれます。ファンドの受益証券1口当たり純資産価格は、ファンドに含まれる資産の価額により決定されます。受益証券1口当たり純資産価格は、購入価格と比べて上昇または下落する可能性があります。したがって、投資目的が達成される保証はありません。

投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、受益証券1口当たり純資産価格の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンド資産に生じた損益は、すべて投資者の皆様様に帰属します。ファンドは、元本が保証された金融商品ではありません。ファンドは、預貯金と異なります。

### 金利変動リスク

投資者は、受益証券への投資が金利リスクを伴う場合があることを認識すべきです。金利変動リスクは、有価証券またはファンド自体の通貨の金利が変動した場合に生じる可能性があります。一般的に、債券の価格は、金利上昇時には下落し、金利低下時には上昇します。

### 信用リスク

債券には、発行体に関する信用リスクが伴い、発行体の信用格付けは信用リスクのベンチマークとして用いられます。低格付けの発行体によって発行された債券は、通常、高格付けの発行体によって発行された債券よりも、信用リスクおよび発行体の債務不履行リスクが高い証券であると考えられます。債券の発行体が財務上または経済上の困難に直面した場合、債券の価額(ゼロになる可能性があります。)およびこれらの債券に基づきなされる支払い(ゼロになる可能性があります。)に影響を及ぼすおそれがあります。

### 為替変動リスク

ファンドは南アフリカ・ランド建ですが、ファンドが投資する金融商品は南アフリカ・ランド建以外の通貨建であることもあります。その結果、これらの通貨の価値がファンドの基準通貨に対して下落した場合、ファンドの資産の価値も減少することがあります。また、ファンドは南アフリカ・ランドを基準通貨としているため、円貨から投資した場合には、外国為替相場の変動の影響によって、円換算した投資元本を割り込むことがあります。

### 新興国市場における資産(カントリー・リスク)

新興国市場の資産に対する投資には、通常、先進国市場の資産に対する投資よりも高いリスクを伴います(相当の法的、経済的および政治的リスクを含む可能性があります。)。新興国とは、「JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド」という指数の一部である国または国際通貨基金(世界経済見通し)により「新興市場経済国および発展途上経済国」に分類される国をいいます。ある国がJPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド指数に挙げられていない場合であって、かつ、当該国が国際通貨基金により「新興市場経済国および発展途上経済国」に分類されていない場合には、世界銀行が低所得国または中所得国(下位中所得国および上位中所得国の両方)として挙げる国をもって、当該国が新興国であるかを判断します。新興国市場の為替相場および有価証券その他の資産の価格は、極端にボラティリティが高くなることが多くあります。多くの場合、新興国市場の証券市場は依然として発展の初期段階にあります。これは、より発展した証券市場では通常発生しないようなリスクをもたらすことがあります。

### 流動性リスク

原則として、ファンドの取得対象は、いつでも再度売却することができる有価証券により構成されています。それにもかかわらず、特定の有価証券を特定の期間中の希望する時期にまたは当該特定の有価証券が取引される市場において売却することが困難になる場合があります。

### その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。



## 月次報告書

## お申込みメモ

- 申込締切時間／  
購入・換金申込  
受付不可日  
原則として、販売会社の営業日の午後3時まで購入申込み・換金（買戻し）申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。ただし、評価日以外の日、12月24日または12月31日には受付を行いません。  
また、日本において銀行休業日が2日以上連続する場合、日本における販売会社は、その前の銀行の営業日における受付を行わない場合があります。  
※「評価日」とは、ルクセンブルグおよびフランクフルトにおける銀行営業日であり、ヨハネスブルグの証券取引所の取引日でもある各日をいいます（以下同じです。）。
- 購入価格  
ルクセンブルグにおいて管理会社またはその代理人が申込みを受け付けた評価日における受益証券1口当たり純資産価格  
※通常、日本における申込日の翌営業日に判明する受益証券1口当たり純資産価格
- 購入単位  
1口以上1口単位
- 信託期間  
設定日(2009年1月30日)から無期限
- 決算日  
毎年12月31日
- 収益分配  
ファンドは年次分配を行うことができます。  
●将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
●分配金の一部またはすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。  
※分配額は変動しますので、状況によっては、分配金が支払われないことがあります。
- 換金（買戻し）価格  
ルクセンブルグにおいて管理会社またはその代理人が申込みを受け付けた評価日における受益証券1口当たり純資産価格  
※通常、日本における申込日の翌営業日に判明する受益証券1口当たり純資産価格
- 換金（買戻し）単位  
1口以上1口単位
- 換金（買戻し）代金  
原則として、申込みを行った日から起算して4営業日目から日本における販売会社または販売取扱会社においてお支払いします。ただし、日本における販売会社または販売取扱会社が別に定める日がある場合はその期日から支払われます。  
※「営業日」とは、南アフリカ・ランドおよびユーロを取引する日をいいます。
- 課税関係  
課税上は公募外国公社債投資信託として取り扱われます。原則として、分配時、売買時、換金時および償還時に課税されます。  
(注)法人の場合は上記とは異なります。法人の場合、益金不算入制度の適用はありません。税法が改正された場合等には、上記の内容が変更されることがあります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- その他  
外貨建投資信託の場合の適用為替レートについて：外貨建投資信託の場合は、売買、償還等にあたり、円貨と外貨、または、異なる外貨間での交換をする際には、外国為替市場の動向に応じて販売会社が決定した為替レートによるものとします。  
お申込みに際しては「外国証券取引口座」が必要です。開設・口座管理料等については、販売会社にお問い合わせ下さい。

## ファンドの費用

時期	項目	費用
投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	ありません。
換金（買戻し）時	換金（買戻し）手数料	ありません。
	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	管理報酬	各評価日に計算される受益証券1口当たり純資産価格に基づくファンドの純資産総額の年率1.4%以内 管理会社は、ファンドから管理報酬を受領し、管理報酬からファンドの関係法人に対する報酬を支払います。
	その他の費用	ファンドの資産およびファンド自体に課される税金、管理費・保管費に関する税金、資産の取得・処分に関する費用、ファンドの受益者の利益を保護するために発生する可能性のある特別費用（訴訟費用等）、登録費用（法律顧問報酬（ファンドにかかる契約書類の作成業務、目論見書等の開示・届出資料作成業務、監督当局への届出に関する業務、およびこれらに付随する業務の対価）、目論見書・年次報告書の翻訳・印刷費用等）等 上記のその他の費用は、一部の費用等が実費となる場合があるため、これらを合計した料率または上限額等を事前に表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面を必ずお受け取りの上、内容をご確認頂きますようお願いいたします。

## 管理会社、その他の関係法人

管理会社/管理事務代行会社	DWSインベストメント・エス・エー（所在地：ルクセンブルグ）
投資運用会社	DWSインベストメント GmbH（所在地：ドイツ フランクフルト）
保管受託銀行	ステート・ストリート・バンク・インターナショナル GmbH、ルクセンブルグ支店
代行協会員	ドイツ証券株式会社
日本における販売会社	SMBC日興証券株式会社 等 商号等：SMBC日興証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、 一般社団法人第二金融商品取引業協会

**ご留意事項**  
当ファンドの日本における販売・買戻業務を行います。交付目論見書の提供は、販売会社にて行います。  
投資信託のお申込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はおお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。  
■当資料は、管理会社等から提供された情報を基に、日本における販売会社が作成した資料です。■当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。■当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。■投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。■投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。■登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。■ご購入に際しては、販売会社より最新の交付目論見書をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。